

はじめに

宮脇千絵（南山大学人類学研究所・准教授／第一種研究所員）

本ブックレットは、2023年3月11日に開催された南山大学人類学研究所研究所2022年度第2回公開シンポジウム「後藤明先生の研究の歩みと四人の巨人（後藤明教授退職記念）」の講演録である。

後藤明先生は、2010年から2022年度にかけて人類学研究所の第二種研究所員であり、特に2010年から2017年度の間は所長として、その活動を支え活性化に尽力されてきた。人文学部人類文化学科の教員との兼務はご苦勞の連続だったに違いない。そのような先生のご退職を記念し企画されたのが本シンポジウムである。

シンポジウムの概要およびプログラムは次のとおりである。

2022年度第2回公開シンポジウム

「後藤明先生の研究の歩みと四人の巨人」（後藤明教授退職記念）

日時：2023年3月11日（土）、13：30～17：30

会場：南山大学Q棟104教室 および オンライン（Zoom）

主催：人類学研究所

共催：人文学部人類文化学科、人間文化研究科人類学専攻、中部人類学談話会

プログラム：

- ・「挨拶・趣旨説明」 渡部森哉（南山大学人類学研究所）
- ・「学問上の四人の「巨人」 後藤明（南山大学人文学部人類文化学科／人類学研究所）
- ・「北方研究の立場から」 大西秀之（同志社女子大学）
- ・「物質文化研究の立場から」 角南聡一郎（神奈川大学）
- ・「オセアニア考古学の立場から」 石村智（東京文化財研究所）
- ・討論

当日はハイブリッドで開催し、対面およびオンライン合わせて約90名の方々にお集まりいただいた。新型コロナウイルスの影響が続くなかの開催ではあったが、懇親会に

も多くの方にご参加いただいた。

なお後藤先生は退職後の2023年度以降、人類学研究所の特任研究員として、引き続き研究に専念しておられる。

